

キレイ！効率的！

クリニックの知恵

整理や収納を見直したり、システムを
カイゼンしたことで
生まれ変わった医院の知恵を
ご紹介します。

07



会議もできるスタッフルーム！

ももとはちゃぶ台が置かれ、一般家庭の居間ようだった。ちゃぶ台の代わりにテーブルを設置したことで、会議にも使用できるように。写真はリモートで税理士から説明を受けているところ。現場にいないスタッフもリモートで参加中。

カイゼンサポーター



小原啓子
(株)デンタルタイアップ
代表取締役

藤田昭子
(株)デンタルタイアップ
歯科衛生士

充実の労働環境は
スタッフが迷わない
動線がカギ！

今回の
カイゼン医院

カイゼン歴4年

たかお歯科

大阪府

院長 高尾賢太郎

歯科医師 1人
歯科衛生士 6人(1人育休中)
歯科助手・受付 3人(1人育休中・
2人育休復帰後の
時短勤務中)

ユニット：4台



半透明ケースを使い分け



診療室の棚

患者さんに見えない箇所は
ケースの使い分けを！

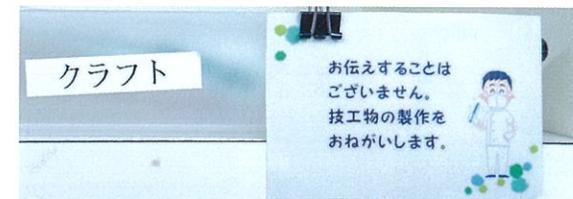
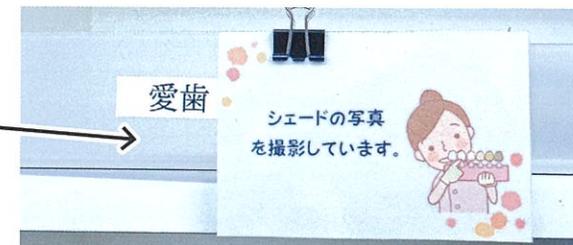
診療室は、同一メーカーでそろえた不透明のケースで統一感を出す。一方、患者さんから見えない技工室などは、中身が確認しやすいように、半透明のケースを使用。いずれの場合も、中身のラベルは必ず貼っておく。



技工室の棚

優しい雰囲気のカードで伝える

無機質な真っ白なカードやメモ用紙よりも、優しい雰囲気の良いイラストをあしらったカードでメッセージを残すと印象が良い。技工所など、外部との関係性を大切にしたい気持ちが表れている。



ソフト・ハードの改善で働きやすく

ハローワークで企業並の労働環境と太鼓判を押され、求人をかけたら30人の応募があったという驚きの歯科医院。かつては20時まで診察していましたが、今は18時終了。そのためには、スタッ

フが迷わない動線をつくること。「ごく普通の街の歯医者さん」が、患者さんにもスタッフにも愛される存在になれることを示してくれる歯科医院です。